

| | |
|-------|-----------------------|
| 独自戦略2 | 持続的に稼げる企業創出による潟上産業活性化 |
|-------|-----------------------|

| | |
|-----|------------------|
| 施策9 | 稼げる企業及び雇用創出支援の強化 |
|-----|------------------|

| 1 令和4年度 施策の方向性 | |
|---|--|
| 企業が持続的に発展するためには企業イメージ向上により企業価値を高め、人材育成により企業の競争力を強化することが重要となる。そのため、持続可能な経営戦略及び人材の価値を最大限に引き出す人材戦略を支援し、稼げる企業及び雇用創出支援を強化する。 | |

| 2 事業概要 | ※ () は活動目標値 |
|--------|--------------|
|--------|--------------|

| | |
|--|---|
| (1) SDGs 促進事業 | |
| 持続可能な地域社会の実現に向けた取組によって、企業価値向上を目指す事業者に対し、秋田県SDGsパートナー登録制度の活用による取組の見える化支援を行った。 | |
| ■活動内容 | ・秋田県担当者と連携した申請支援 ・チラシ及びホームページによる「秋田県SDGsパートナー登録制度」の周知 |
| ■達成状況 | ・SDGs 促進セミナーの開催：1回 (1回) |
| (2) 職場環境整備促進事業 | |
| 多様で柔軟な働き方の実現による従業員の職場定着や雇用の促進に向けて、一般事業主行動計画の策定等、働きやすい職場環境の整備を支援する。 | |
| ■活動内容 | ・チラシ及びホームページによる「一般事業主行動計画 (えるぼし、くるみん)」の周知 ・専門家派遣を通じた一般事業主行動計画のフォローアップ、高度化支援 |
| ■達成状況 | ・一般事業主行動計画策定支援件数：1社 (5社) |
| (3) 人材マッチング促進事業 | |
| 企業紹介パンフレットの作成や関係機関と連携した新規学卒者及び幅広い人材を対象とした企業説明会を開催し、新たな人材とのマッチングを支援する。 | |
| ■活動内容 | ・秋田商工会議所主催「高卒就職フェア2022」での県担当者、学校関係者、ハローワーク等との情報交換、開催の様子視察 ・学校関係者へのアンケートによる開催時期、内容等の検討 ・マスコミ (秋田魁新報、マリマリ)、行政広報等を通じた開催情報発信 ・開催チラシ及び潟上市企業ガイドブック2022を関係各所へ配布、及びハローワーク秋田・ハローワーク男鹿にて求職者へ配布 ・ホームページでの開催情報発信 ・終了後アンケートの実施 (参加企業、参加者) |
| ■達成状況 | ・企業PRパンフレットの作成：500部 (作成) ・企業説明会の開催：1回 (1回) ▽潟上市企業就職面接会 参加企業：17社 共催：潟上市、ハローワーク秋田、ハローワーク男鹿 後援：秋田地域振興局 |
| (4) 人材育成強化事業 | |
| 若者や女性等が活躍しキャリアアップすることで、企業競争力の原動力へと育成するために研修を開催した。 | |
| ■活動内容 | ・多くの派遣人材を有する人材派遣会社の選定 ・チラシ及びホームページによる開催周知 |
| ■達成状況 | ・人材育成研修の開催：2回 (2回) |

| 3 施策目標及び達成状況 | | | | | |
|--|------------|------|------|------|------|
| 施策目標 | 実績値 (目標値) | | | | |
| | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | R8年度 |
| (1) 県SDGsパートナー登録制度への登録事業者数 登録を支援した事業者数 | 4社 (5社) | (5社) | (5社) | (7社) | (7社) |
| 達成状況 | 未達成 | | | | |
| (2) 企業説明会・PRパンフへの参画企業の新規雇用者数 商工会が主催する人材マッチング事業への参画企業を対象とする。 | 1人 (5人) | (5人) | (5人) | (5人) | (5人) |
| 達成状況 | 未達成 | | | | |

| 4 施策目標に関する検証 |
|--------------|
|--------------|

| | |
|-------------------------------------|---|
| (1) 県SDGsパートナー登録制度への登録事業者数 | |
| ≪効果があった事業及びその内容≫ | 何が良かったのか ・SDGs 促進事業 制度周知を図るため秋田県担当者を講師とした説明会及び個別相談会を開催し、登録への実績につながる事ができたこと。 |
| ≪検討の余地がある事業及びその内容≫ | 何が悪かったのか ・SDGs 促進事業 制度を周知したものの、事業者の関心を高められず、目標の登録実績につなげることができなかったこと。 |
| (2) 企業説明会・PRパンフへの参画企業の新規雇用者数 | |
| ≪効果があった事業及びその内容≫ | 何が良かったのか ・人材マッチング促進事業 「潟上市企業就職面接会」の開催に先立ち、企業ガイドブックを配布及びホームページで公開したことにより、求職者への情報提供及び企業のPRにつながったこと。 |
| ≪検討の余地がある事業及びその内容≫ | 何が悪かったのか ・人材マッチング促進事業 「潟上市企業就職面接会」の主たるターゲットを高校3年生 (新卒者) としていたが、開催時期にはほとんど内定をもらっており、参加者がいなかったこと。 |

| 5 次年度への改善点 |
|------------|
|------------|

| | |
|--|--|
| (1) SDGs 促進事業 | |
| 制度登録メリットを認識してもらい、1社でも多く企業価値向上の取組として登録に臨めるようセミナーへの参加を積極的に呼びかける。 | |
| (2) 人材マッチング促進事業 | |
| ターゲットを明確にした開催時期や会場、内容を検討する。 | |